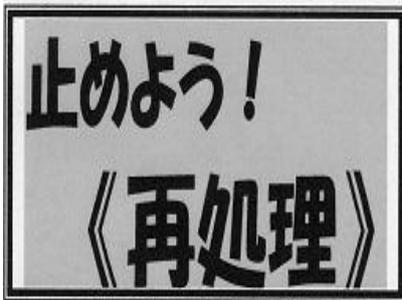


**三陸の海を放射能から守る  
岩手の会** (略称) **三陸の海・岩手の会**  
郵便振替 02240-5-102650  
ホームページ [再処理/岩手の環境](http://www.coocan.jp)  
[/RI 廃棄物 \(coocan.jp\)](http://www.coocan.jp)  
《本紙の全バックナンバー掲載》



《**天恵の海**》  
2024(令和 6年)  
3月 8日  
第254号  
編集事務局 S.Oshida  
TEL・FAX 019-623-1636

**女川原発再稼働阻止 東北電力の回答と 意見交換会**

**使用済み核燃料は地上保管を!  
一部実現の方向へ!**

**女川原発周辺全住民の命と健康**

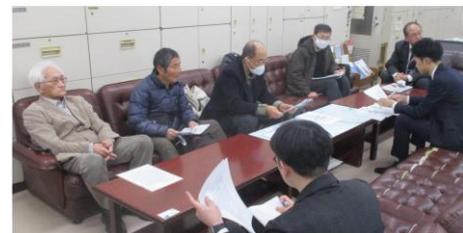
**現在の避難計画では守れない**



東北電力担当者



市民団体代表者



記者説明会：宮城県庁記者クラブ

二月二日、仙台市の東北電力本店で、宮城  
岩手の六市民団体提出の女川原発再稼働に関  
わる要請・質問書について回答を聞き、意見交換  
をする会が開かれました。宮城から六人、岩手か  
ら四人が出席し、東北電力からは原子力企画課  
長松川氏ほか五人が出席、一時間一〇分ほど意  
見交換が行われました。このあと市民代表は宮

城県庁記者クラブを訪  
問し、能登半島地震に  
見られるように、もし女  
川で原発震災が起これ  
ば避難困難に陥ると訴  
えました。

**東日本大震災時の道路寸断箇所**



出展：女川原子力発電所の概要および東日本大震災時  
の対応状況：東北電力P22

大地震が起これば道路は寸断され、それに原発  
事故が重なれば放射能被曝が予想されます。左図  
の **X** は3・11直後の道路寸断箇所です。

**大地震と原発事故が  
重なった時全住民を  
守れるのか?**

元旦早々の能登半島  
大震災は、家屋倒壊や  
火事、道路寸断などを

もたらした。半島付け根に  
ある志賀原発は油漏れ  
などにより外部電源の  
一部喪失の被害を受け  
ました。今回の意見交  
換会では、女川原発も  
半島にあり山間の狭隘  
な道路が、被災した中  
での住民避難の重要な  
課題となる、として話  
題となりました。左図  
は、東北電力資料によ  
る東日本大震災直後の  
道路寸断箇所（一八カ  
所）の地図です。

# 「1号機天井クレーンは本当に

## 地震でダメージを受けていないか?

東北電力の口頭回答では、天井クレーン支持台座の亀裂について新品と交換したので安全との回答がありました。新品に変えたにしては公開写真では盛り上がりしている箇所があり補強的な溶接で済ませたのではないかととの質問がありました。

新たにわかったことは、2、3号機の支持台座検査を目視で済ませていたことです。これはあまりに安易と言わざるを得ません。1号機で亀裂が入ったからには、隣接する号機も詳細にヒビなど内部検査を行うべきです。このクレーン

# II 原発再稼働に 関わる回答

東北電力は、2号機の再稼働を目指し、整備を進め、今年一月に、本年五月頃の再稼働予定を数ヶ月伸ばすと広報しました。しかし、原発事故と住民避難など能登半島地震の教訓をもとに再検討するべき情勢です。私たちの質問の第一は女川原発が事故を起こした場合の、環境影響をシミュレーションし公表するべきだということ。しかしこれに対する回答は「スピーディを使った放射能プルームの動向速報」は返って避難を混乱させる。だから放射能拡散シミュレーションは行わない、という奇妙な理屈でした。原子炉建屋の剛性の低下についても、剛性が70%低下しても建屋の強度にほとんど影響がないという疑問の残る回答でした。耐震免震棟などの「特定重大事故対処施設」が完成するまで再稼働を延期出来ないのか?と質しましたが、再稼働には考

# 地上保管の訴え 一部実現!

二月二十六日のマスコミ報道では東北電力は女川原発で発生した使用済み核燃料置き場として、敷地内に乾式地上施設二つを建設するという方針を固め、宮城県と石巻市、女川町に申し入れたとのこと。私たちの要求が一部実現し安全策を講じようとする姿勢が見えて来たように思えます。再稼働ストップの訴えを大きくして行きましょう。



ブックレット 広瀬隆編 1988年刊  
「北陸が日本列島から消える日  
— 能登原発恐怖の疑惑!」

「広瀬隆編/1988年ブックレット『北陸が日本地図から消える日—能登原発恐怖の疑惑!』 1前編 youtube.com」

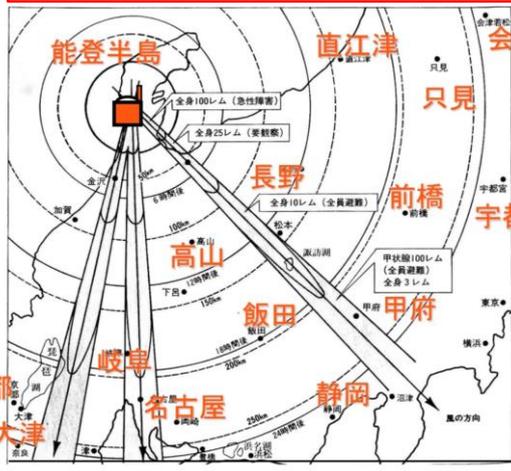
# III 能登大地震の教訓 は「原発を止める!」である

能登半島地震ついて私達は、地震と原発事故が重なれば住民避難が到底不可能で惨憺たる大災害となることを訴え追及しました。しかし東北電力担当者の回答は、「カーボンニュートラルに原発は有効」と繰り返すのみで現在進行中の能登半島の現実を見ない、あまりに危機感のないもので残念でした。

慮しないとの回答でした。

# 観よう! Uチューブ

能登(志賀)原発核暴走  
その日、生き残るために、あなたは何をすべきか?



作家の広瀬隆さんが三六年前に刊行したブックレットをUチューブで公開しています。当時、チェルノブイリ原発事故で反原発運動と使用済み核燃料搬入の六カ所再処理工場反対運動が盛り上がりしました。原発推進側はこのままでは使用済み核燃料置き場が確保出来ないとしてにわかに奥能登に「珠洲原発計画」を対置しました。しかし時の政権は六カ所再処理工場計画を巧みな世論誘導で決定してしまいました。そのために奥能登の核廃棄物置き場の必要性がとりあえず低下しました。だから「珠洲原発計画」は取りやめとなったのだと広瀬さんは述べています。だが、もう一つの「能登(志賀)原発」は強行されました。原発事故が起これば日本全体の大災害です。左図は当時の運動の中で作成された『核事故避難の手引き書』の中の能登で原発事故が起きた場合の、放射能拡散予測図です。「原発事故が起これば日本中安全な所はない」と、当初から明らかでした。原発は急いで廃止するしか安全の道はありません。(尚)